



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第69号 2007年12月号

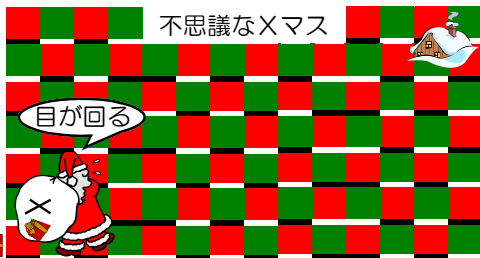
SINCE 2002.4.1.

発行日平成19年12月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
info@sano-k.net

お世話になりました

今年1年も大変お世話になりました。これからも、皆様の「快適な暮らし」のヒントにお役立ていただけるような、新鮮で正確な情報をご提供させていただきますので、引き続き、この「すまい造りメール」をご愛読の程、よろしくお願ひ申し上げます。

尚、弊社の年末年始の休業は、12月29日(土)より1月6日(日)までとさせていただきます。1月7日(月)より、平常通り営業させていただきます。その間何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。



不思議なXマス

目が回る

樅の木は残った

クリスマスが欧米から日本に伝わった時に、マツ科のヨーロッパトウヒ（欧州唐檜）に似た樅の木をクリスマスツリーとして代用したため、樅の木といえはクリスマスツリーというイメージが一般的に定着しているようですが、樅の木は、古くから日本に自生する樹木で、寅と申の年に行われる長野県諏訪大社の御柱祭では、山から切り出され、運ばれ、建てられる神聖なる御神木です。また、山本周五郎は、江戸時代に仙台藩で起こった伊達騒動を見つめる象徴的な樹木として、描いています。樅の木の学名（ラテン語）の一部の「abies（アビエス）」には、永遠の命という意味があり、厳しい条件下でも、次代に生命を継承する樹木の象徴とされています。



ざっくばらん 雑句芭欄

降り雪や
明治は遠く
なりにけり
中村草田男

郷愁ある過ぎ去りし歳月を
偲びつつ、来年は平成に
なつて20年目の更なる飛躍
の年を迎えます。

ローカル・ニュース 地元情報



12月1日(土)

ナイトバザール
「おっばまでござーる」



12月2日(日)

全国車椅子マラソン
「日産カップ2007」

詳細は、追浜で行われるイベント情報などが掲載されているサイト「おっばまタウン」をご覧ください。

クイズ(第68号)の答え

マツ科の常緑高木で、材は軽く、柔らかい特長を持ち、虫に強いことから、収納用の箱などに使われる樹木は、①樅(モミ)です。



クイズ 問呟只利

東北から中部地方の山地に分布するヒノキ科の常緑高木で、樹皮が赤褐色で艶があり、水に強く、クロベとも呼ばれる、木曾五木の一つでもある樹木は、次のうちどれでしょうか。

- ①サワラ ②ネズコ
- ③ヒバ ④コウヤマキ

農ある浜は夢を託す

また、土・日には、その日のうちに収穫された新鮮な野菜が並ぶ直売所が開設され、早朝から家族連れで賑わいを見せています。

直売される「はま奈ちゃん」たち
(横浜生まれの野菜や果物)
トマト・きゅうり・なす・みかん
さつまいも・じゃがいも など



柴シーサイドファーム
(JA横浜南・柴農園管理事務所)
横浜市金沢区柴町334-14
開園時間 9:00~16:00
045(785)6844

次号予告

「Oppama 2008」追浜の街並探訪などについて取り上げる予定です。

来年の干支を正確に言うと「戊子」です。

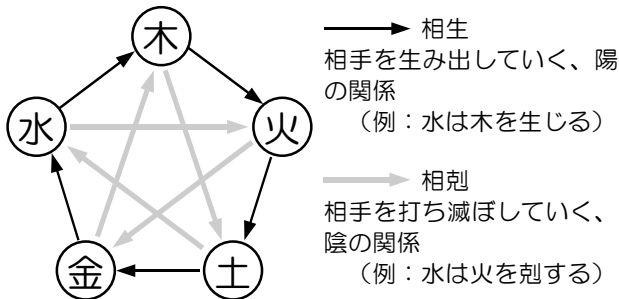
干支とは、五行（木・火・土・金・水）に、陽と陰をあらわす、それぞれ兄（え）と弟（と）をつけた十干（甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）に、十二支（子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥）を組み合わせたものです。甲子から癸亥までの60種類（60年周期）あり、十干と十二支から「干支」となり、兄と弟から「えと」と呼ばれています。干支がひとまわりして同じ干支が巡ってくれば、還暦となります。紀元前の古代中国で始まり、日本には仏教伝来とともに伝わったとされます。干支は、アジアの漢字文化圏では、年・月・日・時や方位、角度などをあらわすようになり、さまざまな占いにも応用され、地鎮祭や上棟式などの日取りを決めたり、運勢などを判断する最も基本的なもののひとつとなっています。

また、1232年「みずのえさる」に起こった壬申の乱、1924年「きのえね」に竣工された甲子園球場、年の瀬の酉の日に開催される酉の市など、いろいろな名称に用いられています。

▼ 干支（えと） ▼

- 1) 1984年 甲子 かっし・こうし（きのえね）
- 2) 1985年 乙丑 いっちゅう・おっちゅう（きのとうし）
- 3) 1986年 丙寅 へいいん（ひのえとら）
- 4) 1987年 丁卯 ていぼう（ひのとら）
- 5) 1988年 戊辰 ほしん（つちのえたつ）
- 6) 1989年 己巳 きし（つちのとみ）
- 7) 1990年 庚午 こうご（かのえうま）
- 8) 1991年 辛未 しんび（かのとひつじ）
- 9) 1992年 壬申 じんしん（みずのえさる）
- 10) 1993年 癸酉 きゆう（みずのととり）
- 11) 1994年 甲戌 こうじゅつ（きのえいぬ）
- 12) 1995年 乙亥 いたがい・おつがい（きのとい）
- 13) 1996年 丙子 へいし（ひのえね）
- 14) 1997年 丁丑 ていちゅう（ひのとうし）
- 15) 1998年 戊寅 ぼいん（つちのえとら）
- 16) 1999年 己卯 きぼう（つちのとう）
- 17) 2000年 庚辰 こうしん（かのえたつ）
- 18) 2001年 辛巳 しんし（かのとみ）
- 19) 2002年 壬午 じんご（みずのえうま）
- 20) 2003年 癸未 きび（みずのとひつじ）
- 21) 2004年 甲申 こうしん（きのえさる）
- 22) 2005年 乙酉 いたゆう・おつゆう（きのととり）
- 23) 2006年 丙戌 へいじゅつ（ひのえいぬ）
- 24) 2007年 丁亥 ていがい（ひのとい）
- 25) 2008年 戊子 ぼし（つちのえね）
- 26) 2009年 己丑 きちゅう（つちのとうし）
- 27) 2010年 庚寅 こういん（かのえとら）
- 28) 2011年 辛卯 しんぼう（かのとう）
- 29) 2012年 壬辰 じんしん（みずのえたつ）
- 30) 2013年 癸巳 きし（みずのとみ）
- 31) 2014年 甲午 こうご（きのえうま）
- 32) 2015年 乙未 いたび・おつび（きのとひつじ）
- 33) 2016年 丙申 へいしん（ひのえさる）
- 34) 2017年 丁酉 ていゆう（ひのととり）
- 35) 2018年 戊戌 ほじゅつ（つちのえいぬ）
- 36) 2019年 己亥 きがい（つちのとい）
- 37) 2020年 庚子 こうし（かのえね）
- 38) 2021年 辛丑 しんちゅう（かのとうし）
- 39) 2022年 壬寅 じんいん（みずのえとら）
- 40) 2023年 癸卯 きぼう（みずのとう）
- 41) 2024年 甲辰 こうしん（きのえたつ）
- 42) 2025年 乙巳 いっし・おっし（きのとみ）
- 43) 2026年 丙午 へいご（ひのえうま）
- 44) 2027年 丁未 ていび（ひのとひつじ）
- 45) 2028年 戊申 ほしん（つちのえさる）
- 46) 2029年 己酉 きゆう（つちのととり）
- 47) 2030年 庚戌 こうじゅつ（かのえいぬ）
- 48) 2031年 辛亥 しんがが（かのとい）
- 49) 2032年 壬子 じんし（みずのえね）
- 50) 2033年 癸丑 きちゅう（みずのとうし）
- 51) 2034年 甲寅 こういん（きのえとら）
- 52) 2035年 乙卯 いたぼう・おつぼう（きのとう）
- 53) 2036年 丙辰 へいしん（ひのえたつ）
- 54) 2037年 丁巳 ていし（ひのとみ）
- 55) 2038年 戊午 ぼご（つちのえうま）
- 56) 2039年 己未 きび（つちのとひつじ）
- 57) 2040年 庚申 こうしん（かのえさる）
- 58) 2041年 辛酉 しんゆう（かのととり）
- 59) 2042年 壬戌 じんじゅつ（みずのえいぬ）
- 60) 2043年 癸亥 きがい（みずのとい）

▼ 相生（そうせい）と相剋（そうこく） ▼



▼ 十干（じっかん） ▼

- 木の陽（木の兄） = 甲（きのえ・こう）
- 木の陰（木の弟） = 乙（きのと・おつ）
- 火の陽（火の兄） = 丙（ひのえ・へい）
- 火の陰（火の弟） = 丁（ひのと・てい）
- 土の陽（土の兄） = 戊（つちのえ・ぼ）
- 土の陰（土の弟） = 己（つちのと・き）
- 金の陽（金の兄） = 庚（かのえ・こう）
- 金の陰（金の弟） = 辛（かのと・しん）
- 水の陽（水の兄） = 壬（みずのえ・じん）
- 水の陰（水の弟） = 癸（みずのと・き）

▼ 十二支（じゅうにし） ▼

- 子（ね・し） 丑（うし・ちゅう）
- 寅（とら・いん） 卯（う・ぼう）
- 辰（たつ・しん） 巳（み・し）
- 午（うま・ご） 未（ひつじ・び）
- 申（さる・しん） 酉（とり・ゆう）
- 戌（いぬ・じゅつ） 亥（い・がひ）